

年 組 名前

2020年6月24日付市民版

阪井さんが立ち往生した踏切。手前の歩道側の遮断機に接触して転倒した＝南区桜本町2で



## 踏切で救助お礼言いたい

### 自転車立ち往生 南区の主婦、車の女性に



当時乗っていた自転車を前に「女性に会ってお礼がしたい」と話す阪井さん＝南区呼続2で

「助けてくれたお礼を言いたい」。南区呼続2の主婦阪井咲子さん(63)が、遮断機の下りた踏切で立ち往生した際に救助してくれた女性を探している。女性はすぐに自身が運転する車に戻ってしまったといい、阪井さんは「顔も見ることができなかった。できることならお会いしたい」と話している。

(秋田耕平)

阪井さんは七日前九時ごろ、愛用する自転車に乗って用事で近所へ。名鉄名古屋本線が桜駅の北側で東海通と交差する踏切(南区桜本町2)に入った。その数週間前から耳の調子が悪くなっていたため警報音に気付かず、線路から抜けようとしたところで、顔の前に下りてきた遮断機と



「他人への関心が薄いこのご時世に助けてくれた人がいたと考えると、感謝の気持ちがあふれて止まらない。会って話をし、直接お礼がしたい」と阪井さん。同居する夫の幸次さん(68)も「とっさの判断で妻の命を救ってくれた。本当にありがたい」と感謝する。

接触し、思わず線路上で転倒してしまった。遮断機を押し上げようとしても重くて動かない。動揺して、その場で動けなくなつた。すると、踏切待ちで停車していた車から女性が降りてきて、阪井さんを線路上から連れ出した上、自転車も引きずり出してくれた。電車が踏切を通過したのはその後だった。

落ち着きを取り戻した阪井さんが礼を言おうとした時には、女性は車に乗り込んで西へ走り去っていた。女性が白っぽい服を着て、グレーの車に乗っていたこと以外は、よく思い出すことができないという。

問1：新聞記事の見出しには、一番重要な事柄が書かれています。

また、リード文（第1段落）には、出来事のあらましがまとめられています。見出しとリード文を読んで、話の内容をつかみましょう。

問2：線路で動けなくなってしまった坂井さんはどんな気持ちだったでしょう。

問3：坂井さんを助けた女性は、どんな思いだったでしょう。

問4：坂井さんは助けてくれた女性にどんなお礼の言葉を言うでしょうか。下にまとめて発表しましょう。

問5：家族・友達の発表を聞いて、どんなことを考えたのか書きましょう。

## 【活用にあって】

親切、思いやりに関する内容です。

新聞記事は大切なことから順番に書かれています。見出しとリード文で内容把握できます。身近な話題であれば、自分との関わりを意識しながら考えることができます。

線路で動けなくなってしまった坂井さん。迫りくる電車への恐怖感、何ともできない焦燥感を自分のこととして捉えることです。写真も参考になります。

踏切待ちしていた女性も助けたい一心で必死だったことでしょう。

お礼の言葉。その場でお礼が言えなくて申し訳なかった、命を救っていただいて心からありがたく思っている、どうしても感謝の思いを直接伝えたかったなど、いろいろと考えることができます。

友達の発表を参考にして、自分の考えをさらに深めていくことで、思いやり、感謝について、新しい見方や考え方を生み出していきたいと思います。